

第5学年国語科学習指導案

児童 5年1組 男12名 女14名 計26名
指導者 阿部 智美

自分の考えを広げたり深めたりするために対話を生かす指導の在り方

1 単元名 学習したことを生かして (学習材名「大造じいさんとガン」 光村5年下)

2 単元について

(1) 児童の実態

児童は、これまでの学習で、登場人物の行動や会話文に着目して心情の変化を読み取り、人物のものの見方・考え方をとらえる学習を行ってきた。学習材「新しい友達」では、自分の身近な友達に対する新しい見方・考え方を、「千年の釘にいどむ」では、目標をもって努力し続ける人物のものの見方・考え方を、そして、「わらぐつの中の神様」では、自分を支えている家族や周りの人達への新しい見方や考え方を読み取ることができた。これら登場人物の生き方や考え方を読み取った後、自分の考えをもたせる学習を進めることにより、登場人物の心情の変化を表現や叙述と関係付けて読むこと、作者の伝えたいことに対する自分の考えをもつことを行ってきた。しかし、自分の力で登場人物の心情と大事な叙述を関係付けたり、主体的に読み進めて自分の考えをもつことは十分にできていない。

「読むこと」の学習において、読み取りを深めるために「対話」を活用することは、「わらぐつの中の神様」で行っている。その際、叙述に即した各自の読みを聞き合い、課題に対する自分の考えを述べたり、相手の考えに付け足して意見を述べたりすることはできたが、異なる意見を交流し合いながら話し合いを深めていくまでには至らなかった。

これらのことから、読むことの中に対話を位置付けることにより、多様な考え方に気付き、お互いの考えを尊重したり、自分の考えを修正したりし、確かな読みにつなげていくようにしたい。また、叙述に即して読み取ったことを、立場を明らかにさせながら、一人一人が確実に自分の読みを確かめたり深めたりすることができるようにさせたい。

(2) 主たる指導事項と学習材

本単元は、児童がこれまでの単元で学習した、「登場人物の言動から心情を読み取る」という読み方を活かして、読みを深めることをねらいとしたまとめの単元である。

本単元の主たる指導事項は、「登場人物の心情や場面についての描写など、優れた叙述を味わいながら読むこと」ことである。この力を培うために「登場人物の行動や会話文を基に、心情の変化を読み取ること」「叙述に即して読み取ったことを関係付けながらまとめ、自分の考えを深めること」の力を育てていくことが必要である。本単元では、「叙述を基に登場人物の考え方や生き方を読むこと」ことが指導の中心となる。

このような力を育てるために、学習材「大造じいさんとガン」を用いる。「大造じいさんとガン」は、大造じいさんとガンの頭領「残雪」との、人間と動物という関係を超越するような関わり合いの様子が描かれている。残雪の知恵や群れの統率力、威厳ある態度に接することで、大造じいさんの残雪に対する見方も「たかが鳥」から「英雄」へと変わっていく。両者の関係を読み取ることにより、自らも狩人としての意地と誇りをもちながら、群れの頭領らしい一羽のガンの態度に感動し、正々堂々と戦おうとする大造じいさんの考え方や生き方、動物達の生きる能力に感動する心を作者の伝えたかったこととしてとらえさせることができる学習材である。

さらに、大造じいさんの心情を読み取る中で、ものの見方や考え方にふれ、これまで学習してきた人物の考え方や生き方とつないで、「自分はどうなのか」という生き方を考える目的をもって、学習に臨ませていきたい。

(3) 指導に当たって

指導に当たっては、次のように進めたい。

単元のみとおす段階では、これまで学習してきた単元の人物の考え方や生き方を振り返らせる。そして、「大造じいさんとガン」の学習でも、登場人物の考え方や生き方を学習していくということ、これからの自分のものの見方や考え方を直していくということの読みの目的をもたせる

ふかめる段階では、場面の移り変わりとともに変化する人物の心情や結びつきを読み取る。全体で伝え合う前には一人一人の読みをさらに深めるために、対話の場を設定する。対話によって明確になったそれぞれの読みを全体で聞き合うことで、一人一人が確実に自分の読みを確かめたり深めたりさせたい。読みまとめでは、大造じいさんの残雪に対する心情をつないで、その変化に気づかせること

により、大造じいさんの残雪に対する見方がどのように変わっていったかまとめていく。登場人物のもの見方や考え方について考え、さらに聞き合うことによって考えを深めていく。

まとめる段階では、多様な人物の考え方や生き方にふれることへの関心をもたせ、発展読書を通して、さらに自分のことを振り返り、最高学年になる自分は今からどんなことを大切にしていきたいかをまとめさせる。

3 単元の見方

(1) 国語への関心・意欲・態度

・今までの学習を生かしながら、登場人物の心情や関係の変化について考えて読もうとする。

(2) 読むこと

・登場人物の行動や情景についての描写など優れた叙述を味わいながら読み、登場人物の心情の変化や結びつきを読み取ることができる。

(3) 言語についての知識・理解・技能

・慣用的な表現や色彩語などの工夫・意味について理解することができる。

4 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 読む能力	ウ 言語についての知識・理解・技能
①情景や場面を楽しんで読もうとしている。	①叙述を基に、情景や心情を読み取っている。 ②登場人物の考え方や主題に対して、自分なりの考えをもっている。	①慣用的な表現や色彩語などについて理解している。

5 学習指導計画(16時間扱い)

【関連する前の単元】「わらぐつの中の神様」 ○登場人物の人物や場面の情景を、叙述に即して読み取る。	【関連する対話の指導】 ○相手の意図や根拠などを話の筋に沿って聞き返すこと。
--	---

段階	学習課題	学習活動と時間	評価規準(方法)
みとおす	○感想を交流して、学習計画を立てよう。	・単元を学習していくテーマを確認する。(1) ・全文を読み、感想をもつ。(1) ・感想を交流し、学習計画を立てる。(1)	アー①心に残る言葉や文章について、感想を書いたり発表したりしている。 (ノート、発言)
ふかめる	○大造じいさんの気持ちの移り変わりを読み取ろう。 ○大造じいさんの残雪に対する見方や考え方がどう変わったのかを考えよう。 ○作者の伝えたいことを考えよう。	○学習計画をもとに、大造じいさんの心情の変化を読み取る。 ・課題①「ううむ。」と感嘆の声をもらした大造じいさんの心情を読み取る。(1) ・課題②「ううん。」とうなった大造じいさんの心情を読み取る。(1) ・課題③銃を下ろした大造じいさんの心情を読み取る。(1) 課題④ただの鳥に対してのような気がしなかった大造じいさんの心情を読み取る。(1) ・課題⑤残雪をいつまでも見守る大造じいさんの心情を読み取る。(本時) ・大造じいさんの残雪に対する見方や考え方の変化について考える。(1) ・作者の伝えたいことを考える。(1) ・椋鳩十の作品を読む。(2)	イー①叙述を基に、情景や心情をとらえて読みを深めている。(ノート、発言) ウー①慣用的な表現や色彩語などのよさに気づいている。(ノート、発言) イー①叙述を基に、情景や心情をとらえて読みを深めている。(ノート、発言) イー②登場人物の考え方や主題に対して、自分なりの考えをもっている。(ノート)
まとめ	○椋鳩十の作品やいろいろな人物の考え方・生き方にふれよう。 ○生き方についての自分の考えをまとめよう。	・いろいろな人物の考え方・生き方にふれるために、自分で本を選んで読む。(3) ・これまでの学習を振り返り、生き方についての自分の考えをまとめる。(1)	アー①いろいろな人物の考え方・生き方にふれるために、自分で本を選び、楽しんで読もうとしている。(観察) イー②登場人物の考え方や生き方について自分なりの感想をもって読んだり、書いたりしている。(ノート)

【生かす単元】「学習したことを生かして」 ○人間と自然とのかかわりについて自分の考えをまとめる。	学習材「月夜のみみずく」
---	--------------

6 本時の指導

(1)ねらい

情景や会話を手がかりに、晴れ晴れとした顔つきで残雪をいつまでも見守っている大造じいさんの気持ちを読み取ることができる。

(2)展開

段階	学習活動（○主発問）	時間	◇学習内容	教師の関わり ☆評価（方法）
みとおす	1 前時の想起をする。 2 本時の学習課題を確認する。 晴れ晴れとした顔つきで残雪をいつまでも見守っている大造じいさんの気持ちを考えよう。	2	◇前時までの残雪に対する大造じいさんの気持ちを想起すること。	・前時までの残雪に対する大造じいさんの気持ちを想起させる。
ふかめ	3 学習場面を音読する。 4 学習課題を解決する。 (1) 残雪をいつまでも見守っている大造じいさんの気持ちを聞き合う。(対話) ○着目した言葉と友達の考えに注意して聞き合ひましょう。 (2) 対話した後、自分の考えを確認する。 5 全体で学び合う。	15	◇大造じいさんの言動に気を付けて音読すること。 ◇残雪をいつまでも見守っている大造じいさんの気持ちを聞き合うこと。 ◇自分の考えを再確認したり、修正したりすること。	・大造じいさんの言動を表す叙述に気を付けて音読させる。 ・大造じいさんの言動、気持ちを表す情景描写に着目させ、その叙述の根拠となる部分を振り返りながら読み深める。 ・対話後、自分の考えを再確認したり、修正したりさせる。
る	○「堂々と戦う」とはどういうことだろうか。 ○「ひきょうなやり方」とはどんなやり方だろう。 ○大造じいさんは、なぜ、「堂々と戦おう」と言ったのだろうか。 6 残雪をいつまでも見守っている大造じいさんの気持ちについて書きまとめる。	15	◇残雪をいつまでも見守っている大造じいさんの気持ちについて、考えること。 ・それぞれの考えを聞き合ったことを基に、叙述と関係付けながら根拠を明らかにして考えを深めることができるようにする。	・それぞれの考えを聞き合ったことを基に全体で交流することを通して、残雪をいつまでも見守っている大造じいさんの気持ちをとらえることができるようにする。
		8	◇残雪をいつまでも見守っている大造じいさんの気持ちについて書きまとめること。 ・2段落構成とし、1段落目に読み取りの書きまとめを、2段落目に自分の考えを書きまとめるようにする。	☆残雪をいつまでも見守っている大造じいさんの気持ちをとらえて書きまとめている。 [努力を要する児童への手立て] 発言や板書を手がかりにしながら、大造じいさんの気持ちを書きまとめることができるようにする。
まとめる	7 書きまとめたものを交流する。 8 学習を振り返り、次時の学習について確かめる。	5	◇学習のまとめをすること。 ・書きまとめたことを交流することで、個々のまとめとする。	・残雪に対する大造じいさんの心情について確かめるとともに、自分の考えを交流することを通し、多様な考え方に気付くことができるようにする。